

## 岐阜大酒「多望の春 岐山／曲阜」完成

2019(令和元)年4月3日(水)



本学応用生物科学部で2013(平成25)年から日本酒を開発するプロジェクトが行われ、5年間かけて完成に至りました。本プロジェクトは米造り、応用微生物学・醸造の知識、商品化・流通、健康・機能性等に関する学習について実践を交えながら、理解する、という応用生物科学の総合的学習プログラムとなっており、原料である米(ひだほまれ)、水(岐阜大学地下水)、酵母、仕込みをすべて岐阜大学生が行い、岐阜県の酒蔵で醸造した「ALL 岐阜」の日本酒です。

ネーミング、デザインについて、岐阜大学の愛唱歌である「我等多望の春にして」の曲名の一部が由来となり、岐阜大ブランド発展となるべく大きな希望を込めた、「多望の春 岐山／曲阜」と命名しました。ラベルは古代中国の甲骨文字をもとにデザインされました。

「岐山」は白ワインを思わせる甘酸っぱい味わいの清酒であり、「曲阜」は淡麗辛口な味わいの清酒となっています。

## 岐阜大学創立70周年記念セミナー

2019(令和元)年5月29日(水)

岐阜大学教育推進・学生支援機構主催 岐阜大学創立70周年記念セミナー

### 岐阜大学誕生秘話

初代学長 青木文一郎の足跡

日時 令和元年 5月29日(水) 午後1時～3時

会場 岐阜大学 全学共通教育棟1階 多目的ホール  
岐阜市御幸1-1  
[近鉄岐阜駅、名鉄岐阜駅から徒歩約40分]

講師 廣内大輔  
岐阜大学教育推進・学生支援機構 准教授  
歴史学専攻准教授、教職科目「教育論」岐阜大学山梨校定時専攻准教授、専任講師、岐阜大学 歴史学専攻准教授・山梨校准教授、岐阜大学創設学芸会専任講師(兼任)、岐阜大学創設学芸会専任講師(兼任)

岐阜大学  
岐阜市御幸1-1  
岐阜大学教育推進・学生支援機構 事務局  
E-mail: gpo@1011@gifu-u.ac.jp TEL: 050-299-1267



70年前、岐阜大学はどのように誕生したのか。本学誕生の秘密に迫るセミナーが開催されました。セミナーでは、高等教育論や大学史を専攻する教育推進・学生支援機構の廣内大輔准教授が本学創立の際、大学本部の住所をどこに置くかをめぐって紛糾したことや、初代学長の選考にあたっては候補者が岐阜出身であるか否かが検討されていたエピソードが紹介されました。

続いて、初代学長を務めた動物学者の青木文一郎氏が、岐阜市に生まれ、東京に学び、台湾の地で長く教鞭を執っていたこと、そして戦後、引き揚げて学長となるまでの人生が、貴重な史料や写真とともに披露されました。

参加者一同、本学の来し方に思いを馳せ、その歴史の重みを実感した一日となりました。

## 岐阜大学学術アーカイブズ完成

2019(令和元)年5月31日(金)



図書館内に新たにアーカイブ・コア、そして各学部の特性を活かした3つのアーカイブ・サテライトを設置し、岐阜大学がこれまで生み出してきた様々な資料を整理・保管し、地域の学術文化拠点となる「学術アーカイブズ」が完成しました。

また、岐阜大学のキャンパスにある様々な資料をいつでも・だれでも、自由に楽しんで欲しいという思いから「岐阜大学デジタル・キャンパス・ミュージアム」(通称:デジ☆キャン)を開設し、スマートフォン等を使ってキャンパスの樹木や美術品などの場所と情報を閲覧可能にしました。

デジ☆キャンはこちらから



## 「岐阜大学」をロケ地とした映画作品を上映

2019(令和元)年6月8日(土)~9日(日)



岐阜大学の歴史を映画作品が撮影された当時の風景、文化とともに振り返り、よすがとするため、現在もフィルムで映画作品を上映している「ロイヤル劇場」(岐阜市日ノ出町)において、「岐阜大学」をロケ地とした映画作品2本(「ジェネラル・ルージュの凱旋」(2009年:東宝/ロケ地:医学部附属病院)、「人生劇場」(1983年:東映/ロケ地:旧農学部(各務原市))ならびに「岐阜県」をロケ地とした映画作品3本を上映しました。

また、6月8日(土)には、特別対談として、映画通で知られる森脇久隆学長と長年ロイヤル劇場の経営に携わる磯谷貴彦氏(岐阜土地興業(株)企画本部長)が、映画に対する熱い思いや、文化を未来に継承することの重要性を語り合いました。

のべ約530人の観客が、イベントのために特別に作成されたパンフレットを傍らにおいて作品を鑑賞し、撮影された当時の岐阜大学、岐阜県内各所の風景、文化を、目で見、耳で聞き、肌で感じた2日間となりました。